

平成 18 年 8 月 3 日

病 院 長 殿

NPO 法人 EBIC 研究会
理事長 佐竹 幸子

第 8 回 WHONET 講習会開催のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、当研究会の活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、世界保健機関 (WHO) は臨床微生物検査室で実施されている抗菌薬感受性試験結果の集積および解析用ソフトウェア“WHONET”を開発して無償提供しており、現在、多くの国でこの WHONET が使用されています。

当研究会では感染管理の質を向上させるツールとして、WHONET の導入を考えている方々のために、平成 10 年から WHONET 講習会を開催して参りました。

本年度から講習会の運営方法を一新し、受講者のニーズと進捗度に合わせて、コース選択できる方式にしました。その初回として、表記第 8 回 WHONET 講習会を別紙のとおり、第 2 回 WHONET 活用事例報告会と合わせて、11 月に開催することといたしましたので、ご参加賜りたくご案内申し上げます。

なお、平成 19 年 3 月には、WHONET の開発者である WHO の Dr.Stelling を招へいして、第 9 回講習会を開催する予定です。

WHONET は無償で提供されていますが、このソフトを運用する職員のトレーニングが必須です。WHONET 導入を考えておられる施設は、本講習会を受講されることをお勧めし、御案内申し上げます。

なお、本案内状は、貴院の院内感染対策委員会、医局、薬剤部、看護部、検査部などの関係部署への回覧方ご配慮いただければ幸いに存じます。

敬具

連絡先

e-mail : info@ebic.jp <http://www.ebic.jp>
FAX : 027-220-8940 TEL : 090-3247-4611
〒371-8514 前橋市昭和町 3-39-15
群馬大学医学部保健学科 佐竹研究室

第8回 WHONET 講習会と第2回 WHONET 活用事例報告会のお知らせ

WHO 公認の臨床微生物学的検査データ解析用ソフトウェア WHONET は、2006 年に大幅な改良が行われ、5.3 から 5.4 にバージョンアップされました（WHONET の概要は別紙「WHONET について」を参照してください）。進化し続けている WHONET で解析した結果を感染管理に活用するために、WHONET 講習会では参加者のニーズに合わせてコースを選択して受講できるように講習会の運営方法を一新しました。WHONET 使用で何ができるかを初心者（細菌検査担当技師の他、看護師や医師も大歓迎）として体験演習して世界共通のツールの使いこなし方を学ぶ方から、更に効率的な活用法や最新版の使い方を学ぶ方まで、参加者が自分に合ったコースを選択します。

本講習会は、ノートパソコン持参を参加条件にしています。講習会事前登録完了者には、最新版のソフトウェア WHONET の CD-R と操作マニュアル（日本語版）などの資料を別途送付いたします。講習会は年 2 回とし、次回（2007 年 3 月）開催予定の第 9 回講習会は、WHONET の開発者 Dr. Stelling を招聘して、御指導いただく予定です。

WHONET 活用事例報告会では、感染症、疫学、臨床微生物学などの専門家からコメントをいただきながら、WHONET の有効な使い方を討論します。「WHONET 活用事例報告会」でご発表いただける会員の方は、平成 18 年 10 月 13 日（金）までにお申し込みください。なお、今回より WHONET 活用事例報告会にのみ参加することも可能にしました。

記

- 指 導 者： 佐竹 幸子（群馬大学医学部保健学科）
その他インストラクター 6 名とコメンテーター 2 名
- 参加対象者： 医師、薬剤師、看護師、検査技師などの他、感染管理に興味のある方
- 日 時： 平成 18 年 11 月 18 日（土）～19 日（日）
- 場 所： 東京都看護協会 3 階研修室
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町 4 番 17 号 TEL 03-5229-1520（代表）
参加事前登録者には会場周辺の地図、交通案内などを別途送付致します。
- 定 員： 講習会（活用事例報告会を含む） 約 60 名（申し込み先着順）
活用事例報告会のみ参加 若干名（申し込み先着順）
- 主 催： 特定非営利活動法人 EBIC 研究会
- 申し込み先： <http://www.ebic.jp> FAX：027-220-8940
- 申し込み方法および参加費：別紙「第 8 回 WHONET 講習会の登録方法」を参照
- 連 絡 先： e-mail：info@ebic.jp FAX：027-220-8940 TEL：090-3247-4611
〒371-8514 前橋市昭和町 3-39-15 群馬大学医学部保健学科 佐竹研究室

【同封資料一覧】

- 資料 1 WHONET について
- 資料 2 WHONET 講習会の選択コースについて
- 資料 3 第 8 回 WHONET 講習会プログラム
- 資料 4 第 8 回 WHONET 講習会の登録方法
- 資料 5 第 8 回 WHONET 講習会申込書

WHONET について

概要

WHO は臨床微生物検査室で実施されている抗菌薬感受性試験結果の集積および解析用ソフトウェア WHONET を開発し、現在、多くの国で本システムが使用されています。この WHONET は、ボストンにある Brigham and Women's Hospital の感染症専門医である Dr. T. F. O'Brien とその当時ハーバード大学の医学生であった Dr. J. M. Stelling によって WHO ボストン共同事業センターで共同開発されました。その後 Dr. Stelling は WHO 職員として本システムの普及に従事し、マルチランゲージ版（Windows 版）を開発しました。WHONET では抗菌薬感受性・耐性率（%）、ヒストグラム、散布図、耐性プロファイル（多くの抗菌薬感受性結果パターンを同時に見ることができる）解析など多くの解析が可能です。

結果入力時に稀な菌種や稀な耐性菌をチェック

新たにデータベースに追加されようとしている結果をサマリーファイル（検査室独自の過去のデータに基づいて作成されたもの）と比較して、異常データと思われるものに対してコメントを出力する機能を持っています。また、過去に同じ耐性プロファイルの菌株が検出された患者数とその患者の病棟分布、この耐性プロファイルを持つ患者一覧表を出力することもできます。この解析の目的は、異常と思われる情報を迅速に検査技師と感染対策チームに提供することにあります。このようなコメントにしたがって検査技師は本当に異常株であるかを再度確認したり、精密な検査のためにリファレンス検査室に菌株を送付するために、その菌株を保存することもできます。このように WHONET システムは、感受性試験あるいは同定検査結果の入力ミスや検査エラーの発見をうながし、修正を容易に行えるようにしました。

一方、感染管理者は、分離された問題の株（例えば多剤耐性緑膿菌やバンコマイシン耐性腸球菌など）が患者から患者へ伝播するのを防止するための適切な隔離予防策を迅速に開始できます。また、問題の耐性菌株保有患者数や病棟間の広がりを WHONET システムで容易に把握できるので、発生している院内感染がアウトブレイクか否かも確認できます。

マクロ機能

定期的に（例えば、1週間に1回、1月に1回、1年に1回など）実施する解析は、WHONET で簡単にマクロを作ることができます。コンピュータが自動的に実行するタスクとして WHONET のマクロを選択し、実行開始時間をスケジュールすると、その時間にコンピュータが自動的に動きだして WHONET の解析を実行します。

おわりに

以上簡単に紹介したように、WHONET システムを使用することによって、臨床微生物検査室は検査結果の質を毎日確認でき、感染管理者は迅速に隔離予防策を開始できます。医療の質を向上させるために、このように様々な利点を持っている WHONET システムを医療現場で効率的に利用することをお勧めします。

WHONET 講習会の選択コースについて

WHONET 導入までのステップ

次の3つのステップが必要です。

1. WHONET の概要を学ぶ
2. BacLink を使用して細菌検査データファイルを WHONET ファイルへ変換する方法を学ぶ
WHONET ファイル作成担当者（主として細菌検査室の検査技師）が受講対象者となる
3. WHONET ファイルを用いて感染管理に必要な解析を行い、解析結果を解釈する

WHONET 講習会の選択コースの種類とその内容

WHONET コース：WHONET で出来る解析法を演習する。

A コース：サンプルデータを使用して、基本的な解析法を学ぶ。（従来の基礎コース）

B コース：サンプルデータを使用して、比較的高度な解析法を学ぶ

C コース：サンプルデータを使用して、最新の解析法を学ぶ

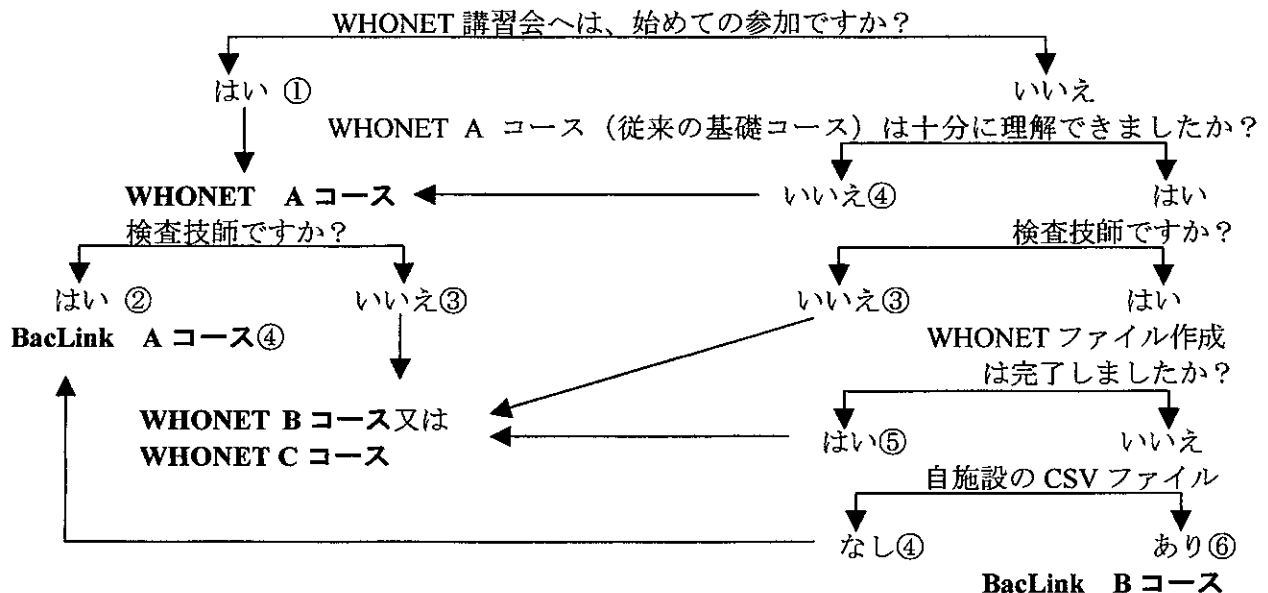
BacLink コース：ファイル変換ソフト BacLink を使用して、微生物学的検査データの CSV ファイルを WHONET ファイルに変換する方法を学ぶ。

A コース：サンプルデータを使用して、ファイル変換方法を学ぶ

B コース：自施設の CSV テキストファイルを WHONET ファイルに変換する。

WHONET 活用事例報告会：事例から活用法を学ぶ。専門家がコメントする。

コースの選択方法 次の図を参考にしてコース選択をして下さい。



- ① 始めて受講する方は、まず WHONET の A コースを受講してください。
- ② BacLink を使用して WHONET ファイルを作成する方(主として細菌検査室の検査技師)は、BacLink A コースを受講してください。
- ③ BacLink を使用する可能性のない職種の方は、WHONET B コースまたは WHONET C コースから選択して受講して下さい。
- ④ 理解が十分でないと自己評価した場合は、同じコースを繰り返して受講出来ます。
- ⑤ BacLink を使用する検査技師の方は、自施設の WHONET ファイル作成完了後に WHONET B コースまたは WHONET C コースから選択して受講して下さい。
- ⑥ BacLink B コースは前回の講習会で BacLink A コースを受講したが、自施設で WHONET ファイル作成が完了しなかった方のためのコースです。
 - ・ 1回の講習会で選択できるコースの数は受講者によって異なりますが、3コースまでです。
 - ・ 申し込み時に選択したコースの進捗状況により、講習会当日にコース変更出来ます。

第 8 回 WHONET 講習会プログラム

11 月 18 日 (土曜日) 東京都看護協会 3 階研修室

- 12:30 ~ 13:00 受付
- 13:00 ~ 13:05 開会挨拶 NPO 法人 EBIC 研究会理事長 佐竹幸子 (群馬大学医学部)
- 13:05 ~ 17:00 次の 3 つのコースから 1 つを選択して下さい。
- | | |
|---------------|---|
| WHONETA コース | 佐竹幸子 (群馬大学医学部)
金子心学 (前橋赤十字病院), 他 1 名 |
| WHONET B コース | 横澤郁代 (前橋赤十字病院), 他 1 名 |
| BacLink B コース | 星野修久・金子貴俊 (データインテックス株式会社) |
- 17:00 ~ 18:00 休憩
- 18:00 ~ 20:00 WHONET 活用事例報告会 座長 金子心学 (前橋赤十字病院)
事例報告 1 (未定)
事例報告 2 (未定)
コメンテーター: 佐竹幸子 (群馬大学医学部)
中島一敏 (国立感染症研究所)
藤田芳郎 (中部労災病院)

11 月 19 日 (日曜日) 東京都看護協会 3 階研修室

- 9:00 ~ 12:00 次の 4 つのコースから 1 つを選択して下さい。
- | | |
|---------------|--|
| WHONET B コース | 横澤郁代 (前橋赤十字病院), 他 1 名 |
| WHONET C コース | 金子心学 (前橋赤十字病院), 他 1 名 |
| BacLink A コース | 佐竹幸子 (群馬大学医学部)
星野修久 (データインテックス株式会社) |
| BacLink B コース | 金子貴俊 (データインテックス株式会社) |
- 12:00 ~ 13:00 昼休み
- 13:00 ~ 16:00 次の 4 つのコースから 1 つを選択して下さい。
- | | |
|---------------|--|
| WHONET B コース | 横澤郁代 (前橋赤十字病院), 他 1 名 |
| WHONET C コース | 金子心学 (前橋赤十字病院), 他 1 名 |
| BacLink A コース | 佐竹幸子 (群馬大学医学部)
星野修久 (データインテックス株式会社) |
| BacLink B コース | 金子貴俊 (データインテックス株式会社) |

第 8 回 WHONET 講習会の事前登録方法

1. 申し込み

次のいずれかの方法で 10 月 13 日（金）までに申し込んでください。例年、締切日前に定員に達しておりますので、お早めの申し込みを御願い致します。なお、電話での申し込み受付は致しておりません。

ホームページ：<http://www.ebic.jp>からも申し込みが出来ます。

ファックス：別紙のファックス送信票にて従来通り申し込み下さい。ホームページにもファックス送信票の PDF ファイルがあります。

定員になり締め切っている場合は翌日までに電子メールあるいはファックスにて連絡致します。連絡が無い場合は申し込みが受領されています。

2. 参加費及び年会費の振り込み（前納）

申し込んだ後、1 週間以内に参加費を郵便局あるいは銀行より振り込んで下さい。振込票兼受領証（郵便局発行）あるいは振込受領書（銀行発行）を保管下さい。1 週間以内に振り込みが確認出来ない場合は、事前登録のための申し込みは自動的にキャンセルとなりますので御注意下さい。参加費の振り込みは 10 月 20 日（金）までとします。参加費の納入が確認され次第、事前登録証と資料を発送致します。

なお、振り込みいただいた参加費は返金できませんので御了承下さい。

郵便局：同封の郵便振替振込書を御利用下さい。申し込み人数や名前に変更がある場合は必ず通信欄に御記入下さい。

口座番号：00170-5-630001

加入者名：特定非営利活動法人 EBIC 研究会

銀行：銀行振込を希望される方は下記の口座に振り込んで下さい。申し込み人数や名前に変更がある場合は再度、電子メールあるいはファックスにてお知らせ下さい。

銀行名：東和銀行前橋北支店

口座種類&番号：普通預金口座 3194048

名義：特定非営利活動法人 EBIC 研究会 理事長 佐竹幸子
トクヒ）イービツクケンキユウカイ

1). 参加費：講習会(事例報告会、日本語マニュアル、WHONET5.4 の CD-R を含む)

28,000 円（会員）、30,000 円（非会員）

活用事例報告会にのみ参加

2,000 円（会員）、3,000 円（非会員）

◎平成 18 年度法人会員、賛助会員所属の方は会員扱いとなります。

2). EBIC 研究会年会費：3,000 円（個人会員）、法人会員 30,000 円、賛助会員 100,000 円

4. 講習会当日の受付

「事前登録手続き完了のお知らせ」を受付で提示し、ネームプレートを受け取って入場してください。

F A X 送 信 票

発信年月日：平成 年 月 日

宛先：FAX: 027-220-8940

NPO 法人 EBIC 研究会 行

発信者：郵便番号：_____

施設 ID*：_____

施設所在地：_____

施設名：_____

発信者氏名：_____ 所属：_____ 役職名：_____

TEL：_____ FAX：_____

電子メール：_____

開設者コード番号（該当する番号を○で囲んでください。）

- 1：厚生労働省 2：文部科学省 3：その他の省庁 4：労働福祉事業団 5：都道府県 6：市町村 7：日赤 8：済生会
 9：厚生連 10：北海道社会事業協会 11：全社連 12：厚生団 13：船員保険会 14：海員被済会 15：国共連 16：地共連
 17：私学事業団 18：農漁共組 19：健保連 20：国保連 21：公益法人 22：医療法人 23：学校法人 24：社福法人
 25：その他の法人 26：生協組合 27：会社 28：個人

施設 ID*：お知らせの封筒に貼っていたラベルの右上に記載している番号をご記入ください。

第 8 回 WHONET 講習会および第 2 回 WHONET 活用事例報告会申込書

ふりがな

参加者氏名：_____

会員 ID _____

所 属：_____

職種（○で囲んで下さい）：医師・薬剤師・看護師・検査技師・その他（_____）

役 職 名：_____

コース選択：希望するコースを○で囲んで下さい

11月18日（土） 13：00～17：00	11月18日（土） 18：00～20：00	11月19日（日） 9：00～12：00	11月19日（日） 13：00～16：00
WHONET Aコース	WHONET 活用事例報告会	WHONET B コース	WHONET B コース
WHONET B コース		WHONET C コース	WHONET C コース
BacLink B コース		BacLink A コース	BacLink A コース
		BacLink B コース	BacLink B コース

参加費（○を記入して下さい）◎平成18年度法人会員、賛助会員所属の方は会員扱いとなります。

講習会（活用事例報告会を含む）：（ ） 会員 28,000 円（平成18年度会員）

（ ） 非会員 30,000 円

活用事例報告会のみ：（ ） 会員 2,000 円（平成18年度会員）

（ ） 非会員 3,000 円

平成18年度年会費（○を記入して下さい）：（ ） 個人会員 3,000 円

（入会・継続会員希望者のみ）（ ） 法人会員 30,000 円

（ ） 賛助会員 100,000 円

合計 _____ 円を1週間以内に（郵便振替・銀行）振込致します。